

学校教育目標	あかるくさわやか ひとみきらきら あさひっ子 「思いをもつ力」「やり抜く力」「関わる力」				
	前中期経営方針スタート時に資質・能力ベース表現に置き換えて重点化した3つの力を、具体的な教育活動の中で育成することが、本校の学校教育目標である。初期には教職員が意識した教育活度の展開が主であったが、徐々に児童も目標を共有して振り返り、進められるようになった。なお、この3つの力は、教職員が獲得を目指す資質・能力でもある。常時、資質・能力の獲得状況を確認しながら学校教育を推進していく。				
学校概要	創立 125 周年	学校長 矢島 孝幸	副校長 小林 加奈	2 学期制	一般学級: 22 個別支援学級: 7
	児童生徒数: 738 人	主な関係校: 寺尾中学校、東台小学校、上寺尾小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	〇〇中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
《 思いをもつ力 》 《 やり抜く力 》 《 関わる力 》	寺尾中学校 上寺尾小学校 東台小学校 旭小学校	人とのかかわりの中で、自分らしさを表現しながら、主体的に学び続ける子ども ○ブロック内各校の授業や行事等における交流を通じて、児童・生徒が身に付けるべき資質・能力についての共通理解を図り、ブロックで育てたい子ども像の実現に向かって実践化を図る。 ○学校運営協議会メンバーを含め親密な関係のもとで連携を図っている。より積極的な情報共有を図り、児童生徒の9年間の学びを見通した教育活動を目指していく。

中期取組目標	児童が自ら課題を発見し自らの力で解決していく過程を通して、予測不可能な未来社会を生き抜くための資質・能力を育みます ○児童の必要感を重視し、「こんなことを実現したい」という思いをもって主体的に取り組む姿勢を大切にします ○思いをもって始めたことに対して安心して取り組める機会を保障することを通して、責任をもって最後まで粘り強く取り組む姿勢を大切にします ○仲間と議論したり、折り合いをつけたりする機会を保障することを通して、相手を尊重して自己を伸長する資質をはぐくみます
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きて働く知	①学校生活全般において児童の課題を見極め、自らの必要感を促したうえで自己決定による学校の実現を目指す。結果よりも過程を評価し、評価したことに対して適時的なフィードバックする指導官を醸成する。 ②教師主導の授業スタイルではなく、児童にとって「主体的・対話的・深い学び」が実現する授業を目指す。
担当	研究推進委員会	
徳	豊かな心	①一律な「正解」を求める以上に、多様な考えを認め合ったうえでの「適切解」、「納得解」を導き出す指導を心がける。②自己欲求の実現に偏ることなく、他者とのかかわりの中での学びを重視し、児童同士や地域社会と関わる場面を積極的に取り入れ、社会全体の幸福を意識した学美を実現する。
担当	A部会・道徳推進	
体	健やかな体	①昭和60年以降の体力低下傾向に加えコロナ禍で拍車がかかった運動離れが加速している現状を踏まえ、データを活用して自身の課題解決を図る学習を取り入れる。②アフターコロナにおいて薄れてきている感染症対策など、健康維持意識を回復させ、実生活で活かせるように努める。
担当	体育部	
公開	地域との協働	①寺尾中学校、近隣幼児教育施設との連携を充実させ、カリキュラムを見直しながら年少から中学校卒業までのロングスパンでの資質・能力の育成を図る。②校外での学習機会を積極的に実現させ、地域人材、専門家、との連携によって「生きた学習材」との出会いを創出し、未来社会を生きる資質・能力をはぐくむ。
担当	教務部	
いじめへの対応		①教職員が、研修等を含めて児童理解について学び、見直し続けてきた校内いじめ認知・解決システムを活用することで、迅速な対応を心がける。②児童支援専任教諭を核とした児童理解体制を強化し、教職員のいじめの兆候察知感度を上げ、未然防止・早期発見に努める。
担当	人権指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		①教職の魅力が希薄であるという社会動向、経験が浅い教職員が増加している自校傾向を踏まえ、教職の魅力を体感できるよう、「Well-being」、「働きがい」をキーワードに教職員自身が必要感をもって学習開発に取り組めるよう人材育成を推進する。そのために、教育の質を落とさない業務の効率化を図る。
担当	学校運営委員	
ICTを含むデータ利活用		①パナソニック教育財団の助成を受けて検証を進めている「GPSテクノロジーによるデータを活用した課題解決的学習」をモデルに、教育活動全般において児童が自身のデータと向き合い、課題解決に向かう学習の実現を目指して教育DXを推進する。②横浜StudyNaviを活用した校務DXを推進する。
担当	学校運営委員	
特別支援教育		①校内における教職員研修を定期的に設定し、児童の個性を大切に、児童のよさに着目して伸長を図る指導観の醸成を図る。②配慮を要する児童については、保護者や関係機関との連携を図りながら支援を進める。また、配慮の有無にかかわらず、誰もが安心して学ぶことができるように努める。
担当	特別支援教育担当	
教育課程編成		①前例踏襲ではなく「子どもに必要な学びとは」の解になる学習を模索する。そのために、保護者や地域、教育関係者、児童の声(評価)を尊重し、カリキュラム編成に反映する。②近隣地域、関係者との良好な関係を構築できてきたことから、校外での学びを積極的に活用した教育課程を編成する。
担当	学校運営委員	
学校情報発信		①WEBページ、公式SNSを活用して積極的に教育活動や教育ビジョンを発信し、理解および教育支援を求める。またペーパーレス化の推進に伴う地域との情報共有網を構築する。②授業参観、懇談会、個人面談を充実させ、児童安全策を講じたうえでいつでも教育内容を開放する学校理念を確率する。
担当	教務部	